

院生研究活動状況一覧

2015年1月1日から2015年12月31日までの間に発表されたもので、
本人より申告されたもののみを記載した。

《教育基礎学専攻》

安藤めぐみ（教育行政学）

〈論文〉

- ・安藤めぐみ「ベトナムの学校保健政策における教育と保健医療の連携—国家政策およびトゥアティエン・フエ省の動向に着目して—」『筑波大学教育学系論集』第40巻第1号，2015年10月，pp. 41-53.

〈学会発表〉

- ・安藤めぐみ「ベトナムにおける学校保健政策の展開—学校保健主事の配置と学校医療保険制度に着目して—」第30回日本国際保健医療学会学術大会，金沢大学，2015年11月21日.
- ・安藤めぐみ「ベトナムにおける学校保健主事の職務に関する実態調査—トゥアティエン・フエ省における調査から—」日本学校保健学会第62回学術大会，岡山コンベンションセンター，2015年11月28日.

〈その他 受賞など〉

- ・第30回日本国際保健医療学会学術大会 ベスト口演賞

川本太郎（教育哲学）

〈論文〉

- ・川本太郎「プラトンの詩人批判と人間理解」『東京純心女子大学紀要』（東京純心女子大学）第19号，2015年3月，pp. 43-54.

紅桂蘭（生涯学習・社会教育学）

〈学会発表〉

- ・紅桂蘭「中国内モンゴル自治区におけるアンダイ文化の普及に関する一考察」日本社会教育学会第62回研究大会，首都大学東京 南大沢キャンパス，2015年9月19日.
- ・紅桂蘭「民族文化に対するモンゴル族の子どもの意識に関する考察—民族学校の児童生徒のアンケート調査をもとに—」アジア教育学会第10回大会，有明教育芸術短期大学，2015年10月24日.

島埜内恵（比較・国際教育学）

〈学会発表〉

- ・島埜内恵「フランスにおける『出身言語・文化教育（ELCO）』政策の運用における現状と課題—ストラズブール大学区を事例として—」，フランス教育学会，山形大学，2015年9月6日・7日.

- ※Shimanouchi, M., *Evolutions of "Education of Original Language and Culture: ELCO" Policy in France*, International Conference Celebrating the 20th anniversary of Asian Studies at the University of Ljubljana : Trajectories from Pre-Modern to Post-Modern, University of Ljubljana, Slovenia (7th-8th, November, 2015).
- ※Shimanouchi, M., *Systèmes éducatifs et "vivre ensemble" : une comparaison entre la France et le Japon*, Journée japonaise et chinoise, Université de Franche-Comté, France (1e 1^{er}, décembre, 2015).

白岩伸也（日本教育史）

〈論文〉

- ・白岩伸也「予科練をめぐる集合的記憶の形成過程—第二次世界大戦後における茨城県稲敷郡阿見町の地域変容に着目して—」『筑波大学教育学系論集』（筑波大学人間系教育学域）第40巻第1号，2015年10月，15～27頁。

〈学会発表〉

- ・白岩伸也「戦後初期における旧軍関係教育機関出身者への施策—「非軍事化」と「民主化」の動向とその射程に着目して—」教育史学会第59回大会，宮城教育大学，2015年9月26日。

留目宏美（学校経営学）

〈編著書〉

- ・留目宏美「第18章 学校保健の実践と方法」小島弘道『全訂版 学校教育の基礎知識』2015年8月，協同出版，513頁，310-333頁

〈論文〉

- ・留目宏美「養護教諭の役割の安定化のプロセスに関する一考察 —Y市立Z小学校を対象として」『学校経営学論集』（筑波大学学校経営研究会）3巻，2015年2月，1-11頁
- ・留目宏美「学校経営における「養護教諭マネジメント」と校種・校長の影響」『学校保健研究』（日本学校保健学会）57巻1号，2015年4月，29-40頁
- ・留目宏美「高等学校における教員文化の変容過程と生徒文化への影響—「伝統校」の学校改善に着目して—」『筑波大学教育学系論集』40巻1号，2015年10月，65-77頁

〈学会発表〉

- ・高橋妙子，留目宏美「「気持ち悪い」と訴えて保健室を利用する中学生への対応の分析—訴えをもたらす要因の複雑性に焦点をあてて—」日本養護教諭教育学会第23回学術集会，くまもと森都心プラザ，2015年10月11日

西村 恵（生涯学習・社会教育学）

〈学会発表〉

- ・西村 恵・水上勝義「注意欠如・多動性障害児に対する自律訓練法の効果—注意機能と脳 NIRS の検討—」一般社団法人日本学校保健学会 第62回学術大会，岡山コンベンションセンター，2015年11月29日

蜂屋大八（生涯学習・社会教育学）

〈論文〉

- ・蜂屋大八「中山間地域コミュニティにおける社会関係資本形成と住民の学習の関係性—山形県最上郡金山町を事例として—」『筑波大学教育学系論集』第39巻，2015年3月，pp. 59-72
- ・蜂屋大八「1970年代の農村地域青年の学習活動の展開と地域づくり主体の形成—山形県最上郡金

山町の農村青年の学習に着目して一』『社会教育学研究』（日本社会教育学会）第51巻第2号，2015年8月，pp. 23-33

古田雄一（学校経営学）

〈編著書〉

- ・古田雄一「シティズンシップ教育の実践と方法」小島弘道（編著）『学校教育の基礎知識』2015年8月，全訂版，協同出版，513ページ，pp. 293-309.

〈論文〉

- ・古田雄一「アメリカの貧困地域における子どもの市民性形成をめぐる環境的課題—学校・地域におけるシティズンシップ教育の機会格差と隠れたカリキュラム—」『学校経営学論集』（筑波大学学校経営学研究会）第3号，2015年2月，pp. 12-20.
- ・古田雄一「アメリカの貧困地域の学校におけるシティズンシップ教育の意義と可能性—「パブリック・アチーブメント」の導入事例の分析を通して—」『日本教育経営学会紀要』（日本教育経営学会）第57号，2015年6月，pp. 110-124.
- ・古田雄一「アメリカの貧困地域の子どもの内面化される「市民」像に関する一考察—子どもの日常的経験と学校の隠れたカリキュラムに着目して—」『筑波大学教育学系論集』（筑波大学人間系教育学域）第40巻第1号，2015年10月，pp. 55-63.

牧瀬翔麻（教育行政学）

〈論文〉

- ・牧瀬翔麻「小規模自治体における教育事務の処理上の課題—奈良県教育行政に焦点を当てて—」『筑波大学教育学系論集』（筑波大学人間系教育学域）第40巻第1号，2015年10月，79-90頁

〈学会発表〉

- ・牧瀬翔麻「共同処理に適した教育事務内容の抽出に対する予備的考察—奈良県吉野郡東部地域を事例に—」筑波大学教育学会第13回大会，筑波大学東京キャンパス，2015年3月
- ・牧瀬翔麻「小規模自治体における教育事務処理体制の広域化の検討」日本教育政策学会第23回大会，福島大学，2015年7月
- ・田邊良祐，大西圭介，牧瀬翔麻「教員の行政研修に関する全国的傾向—各都道府県及び政令指定都市が行う研修実態の分析を通して—」日本教師教育学会第25回研究大会，信州大学，2015年9月
- ・牧瀬翔麻「一部事務組合における実効性のある教育事務の共同処理—栃木県芳賀地区の事例から—」日本教育行政学会第50回大会，名古屋大学，2015年10月

〈その他 受賞など〉

- ・平成26年度筑波大学大学院人間総合科学研究科長表彰，2015年3月

松原 悠（教育制度学）

〈論文〉

- ・山本泰弘，松原悠，安達光理，伊藤敏，木立佳里，佐藤良太，小林優子，角谷雄哉「筑波研究学園都市における『駅前キャンパス』の実践」『サイエンスコミュニケーション』（日本サイエンスコミュニケーション協会）4(2)，2015，pp. 22-29.

〈学会発表〉

- ・松原悠「学習権論における子どもの自由の内容とその論理構成」日本教育制度学会，奈良教育大学，2015.11.7.

※Yoshino H, Akimoto Y, Kinoshita N, Sato R, Eom S, Matsubara Y, Endo Y “On the Quality Assurance of Academic Degrees” The 111-th Meeting on Higher Education for the Next Generation, Waterfront Cebu City Hotel & Casino (Cebu, Philippines), 2015. 11. 8.

・松原悠, 佐藤良太, 巖先鏞, 吉野宏志, 秋元祐太郎, 木下尚彦, 遠藤靖典「TA を活用した大学院教育の達成度評価システム」大学教育学会, 岩手医科大学, 2015. 11. 28 (要旨:『大学教育学会2015年度課題研究集会要旨集』(大学教育学会2015年度課題研究集会企画委員会・実行委員会) p. 95).

〈その他 受賞など〉

・松原悠「茗溪会賞」(一般社団法人茗溪会), 一般社団法人茗溪会理事長 江田昌佑, 2015. 3. 25.
・松原悠「副学長特別表彰」(筑波大学), 筑波大学副学長 玉川信一, 2015. 11. 8.

《学校教育学専攻》

相賀由美子 (道徳教育学)

〈論文〉

・相賀由美子「『状況的アプローチ』に基づくドイツの幼児教育とその質と評価方法に関する一考察—INA 研究所の試みを通して—」『保育学研究』(日本保育学会) 第53巻第1号, 2015年 8月31日, 18—30頁

泉 貴久 (社会科教育学)

〈編著書〉

・「The Association of Japanese Geographers' Social Action Program and Geography Education」(Hiromi Iwamoto との共著), Yoshiyasu Ida, Minoru Yuda, Takashi Shimura, Shunsuke Ike, Koji Ohnishi and Hideki Ohshima Editors, 『Geography Education in Japan』, 2015年 1月, B 5 変形版, Springer, 243頁, 143—153頁.

・「ESD (持続可能な開発のための教育)」, 日本シティズンシップ教育フォーラム編, 唐木清志・岡田泰孝・杉浦真理・川中大輔監修, 『シティズンシップ教育で創る学校の未来』, 2015年 3月, A 5 版, 東洋館出版社, 196頁, 144—149頁.

・「多文化共生をテーマにした高等学校地理Aにおける授業実践の取り組み」, 井田仁康・伊藤純郎・唐木清志・國原幸一朗・栗原久・國分麻里・須賀忠芳編, 『中等社会科21世紀型の授業実践—中学校・高等学校の授業改善への提言—』, 2015年 3月, B 5 版, 学事出版, 204頁, 34—43頁.

〈論文〉

・「2015年度科学地理オリンピック日本選手権—三次選抜試験を中心に—」, 『地理』(古今書院), 第60巻第6号, 2015年 6月, 96—101頁.

・「児童・生徒を「知の体系」へといざなうために」, 『社会科教育』(明治図書), 第678号, 2015年 10月, 103頁.

〈総説・科研報告書等〉

・「専門高等学校における社会系教科の課題と展望—北海道おといねっぶ美術工芸高等学校を事例に—」『地域と教育』(筑波大学博士課程人間総合科学研究科教育学専攻「社会科教育学特講」調査報告), 第14号, 2015年 8月, 111頁, 80—110頁.

〈学会発表〉

・「エネルギー政策を考える—持続可能な社会の形成へ向けて—」, 独立行政法人 国際協力機構 (開

- 発教育指導者研修実践共有会・ポスターセッション), JICA 地球ひろば, 2015年3月8日.
- ・「国際地理オリンピックから今後の地理教育の方向性を考える—日本の高等学校地理教育の改善に向けて—」, 日本地理学会 (春季学術大会・一般発表), 日本大学文理学部, 2015年3月28日.
 - ・「専門高等学校における社会系教科の課題と展望—北海道おといねっぶ美術工芸高等学校を事例に—」, 日本地理教育学会 (大会・一般研究発表), 奈良教育大学, 2015年7月19日.
 - ・「生活圏の地理的な諸課題を探究する学習」, 平成27年度鳥取県教職員専門研修中学校社会・高等学校地理歴史 (地理) (講演), 倉吉未来中心, 2015年7月27日.
 - ・「防災まちづくり・くにつくり学習の実践に向けて」, 土木学会第7回土木と学校教育フォーラム (模擬授業ワークショップ 高校編), 土木会館, 2015年8月30日.
 - ・「多文化共生をテーマにした高等学校地理Aにおける授業実践の取り組み—人種主義や差別を打破するための多文化理解学習を目指して—」, 全国社会科教育学会 (全国研究大会・対話型発表), 広島大学西条キャンパス, 2015年10月11日.
 - ・「地理教育におけるスキルと評価」, 日本地理教育学会 (例会・コメント&総括), 早稲田大学早稲田キャンパス, 2015年10月24日.
 - ・「地理教育におけるシステムアプローチの可能性」 (宮崎沙織, 梅村松秀, 中村洋介, 山本隆太との共同発表), 日本社会科教育学会 (全国研究大会・自由研究発表), 宮城教育大学, 2015年11月8日.
 - ・「高等学校地理における「日本のエネルギー政策」をテーマとした授業実践—価値判断・意思決定のプロセスを通して—」, 日本社会科教育学会 (全国研究大会・自由研究発表), 宮城教育大学, 2015年11月8日.
 - ・「千葉県高校生の活躍—地理オリンピック—」, 千葉県高等学校教育研究会地理部会 (秋季研究大会・報告), 東金市中央公民館, 2015年11月10日.

〈その他〉

- ・「書評 岩田貢・山脇正資編『防災教育のすすめ—災害事例から学ぶ—』, 『中等社会科教育研究』 (中等社会科教育学会), 第33号, 2015年3月, 117-118頁.
- ・『防災まちづくり・くにつくりワークブック 防災まちづくり・くにつくりを考える』, 内閣官房国土強靱化推進室 土木学会 教育企画人材育成委員会 土木と学校教育会議検討小委員会 「防災まちづくり・くにつくり学習」副読本検討ワーキング (藤井聡, 寺本潔, 唐木清志, 谷口綾子, 五十嵐俊子, 岩坂尚史, 服部司, 島田智康, 三浦光一郎, 佐藤浩樹, 高塚秀和, 中村俊之との共同制作), 2015年8月.

伊藤哲章 (理科教育学)

〈論文〉

- ・「アメリカの高校生物教育におけるバイオテクノロジーに関する教育内容の特質—Scholastic Assessment Test 及び Advanced Placement Examination の分析から—」, 『教材学研究』 (日本教材学会), 第27巻, 印刷中.
- ・「イギリスの初等科学教育に関する一考察」, 『郡山女子大学紀要』, 第51集, 2015年3月, pp. 117-128.

〈学会発表〉

- ・「高校生物における微細藻類ボトリオコックスを用いた実験」, (日本科学教育学会), 山形大学, 2015年8月23日.
- ・「幼稚園・保育所における動物飼育に関する研究—動物飼育に関する保育者の意識調査—」, (日本

理科教育学会東北支部), 福島大学, 2015年11月7日.

- ・「幼稚園・保育園における動物飼育状況と飼育体験効果に関する研究」, (日本乳幼児教育学会), 昭和女子大学, 2015年11月28日.

〈その他〉

- ・「プラナリアの再生」, 『日本生物教育会全国大会記念誌』, (日本生物教育会), 2015年8月, 88-91頁.

大鷹竜午 (理科教育学)

〈論文〉

- ・大鷹竜午「英国の科学的探究能力育成教材における変数同定の指導方法の特質—認知的活動の促進という観点からの分析—」『理科教育学研究』(日本理科教育学会) Vol. 55, No. 4, 2015年3月20日, pp. 405-414.

〈学会発表〉

- ・大鷹竜午「地学巡検実施能力育成のための研修」日本理科教育学会, 京都教育大学, 2015年8月2日.
- ・大鷹竜午, 馬場智子, サプト・アスハルディアント, 野村純「日本人学生にとってのASEAN大学生との協働科学授業づくりの効果」日本科学教育学会, 山形大学, 2015年8月23日.

〈その他 受賞など〉

- ・「理科教育研究奨励賞」受賞, 日本理科教育学会

勘米良祐太 (人文学科教育学)

〈論文〉

- ・勘米良祐太「1902(明治35)年中学校教授要目告示による作文に関する教育内容の変化—友田宜剛の教科書を手がかりに—」『読書科学』(日本読書学会) 56(3・4), 2015年3月, pp. 101-112.
- ・勘米良祐太「中学校教授要目改正(明治44年)による文法教科書の変化—作文教育への「附帯」的指導に着目して—」『国語科教育』(全国大学国語教育学会) 77, 2015年3月, pp. 22-29.

〈学会発表〉

- ・勘米良祐太「明治35年中学校教授要目における文法教育および作文教育の課題—領域「文法及作文」の設定に着目して—」全国大学国語教育学会第129回大会, 創価大学, 2015年10月24日.

小嶋季輝 (教育工学)

〈論文〉

- ・小嶋季輝「文字言語を媒介した方法知の伝達に関する前提とその隘路: テキスト学習における方法論的妥当性の再検討」『琉球大学教育学部紀要』(86), 2015.2, 109-118.
- ・小嶋季輝・古市直樹・早坂淳「教室に流れるニュートンの時間とベルクソンの時間: 学習の客観的「中心」と主観的「中心」の不一致」『教育実践総合センター紀要』(22), 2015.3, 87-104.
- ・鎌田公寿・小嶋季輝・木野村嘉則「道徳教育におけるケア場面を抽出するための枠組みの構築: Noddingsの理論に依拠して」『東邦学誌』44(1), 2015.6, 71-86.
- ・小嶋季輝「文字言語を媒介した方法知の伝達を可能とする条件的要素に関する研究: 伝達事例における私秘的還元の開示に焦点化して」『琉球大学教育学部紀要』(87), 2015.9, 121-129.
- ・鎌田公寿・木野村嘉則・小嶋季輝「「ケアされる人」がケア主体へと発達する契機を分析するための枠組み: 道徳教育におけるNoddings理論の援用妥当性を論点として」『琉球大学教育学部紀

要』(87), 2015.9, 113-120.

後藤みな (理科教育学)

〈学会発表〉

- ・後藤みな「ドイツ森の幼稚園の自然体験活動—BW州支援計画との関連から—」日本保育学会, 椋山女学園大学, 2015年5月9日.

小林岳人 (社会科教育学)

〈編著書〉

- ・小林岳人「高等学校の地理授業におけるオリエンテーリング実習～地図を使った体験的な学習～」井田仁康他編著『中等社会科21世紀型の授業実践—中学校・高等学校の授業改善への提言—』2015年6月, 学事出版, 208ページ, 16-24ページ.

〈論文〉

- ・小林岳人「地理の授業でオリエンテーリング」『地理・地図資料』(帝国書院)第213号, 2015年11月, 裏表紙.
- ・小林岳人「地理学習と英語」『房総地理』(千葉県高等学校教育研究会地理部会会誌)第66号, 2015年11月, 17-38ページ.

〈学会発表〉

- ・小林岳人「地理の授業でのオリエンテーリング実習」千葉県高等学校教育研究会地理部会春季研究大会, 千葉県立松戸国際高等学校, 2015年5月29日(金).
- ・小林岳人「地理的興味の対象としてのオリエンテーリング」地理空間学会第8回大会, 筑波大学, 2015年6月20日(土).
- ・小林岳人「地図学習とオリエンテーリング」中等社会科教育学会例会, 筑波大学, 2015年6月27日(土).

〈その他〉

- ・小林岳人「書評 橋本雄一編『QGISの基本と防災活用』」『地理空間 (地理空間学会)』, 第8号, 2015年12月, pp. 351-355.

鈴木貴史 (人文科教育学)

〈論文〉

- ・鈴木貴史「東京高等師範学校附属小訓導水戸部寅松の業績と書字教育論1 (理論編)」人文科教育学会『人文科教育42』, pp. 47-58, 2015年
- ・鈴木貴史「東京高等師範学校附属小訓導水戸部寅松の業績と書字教育論2 (資料編)」人文科教育学会『人文科教育42』, pp. 59-65, 2015年
- ・鈴木貴史「明治初期における書字教育の技能教育化」全国大学国語教育学会『国語科教育78』, pp. 37-44, 2015年

〈学会発表〉

- ・鈴木貴史「明治20年代の書字教育における文字論」日本読書学会 (林野会館, 2015年8月8日)
- ・鈴木貴史「大正期書キ方教育における二項対立の克服」全国大学書写書道教育学会 (横浜国立大学, 2015年10月11日)
- ・鈴木貴史「大正期「書キ方」教育における国語科理念の衰退」全国大学国語教育学会 (創価大学, 2015年10月24日)

中嶋真弓（人文科教育学）

〈論文〉

- ・中嶋真弓「昭和30年代の古典教育の考察—経験主義から能力主義への転換を視座に—」『愛知淑徳大学論集—教育学研究科篇—第5号』（愛知淑徳大学論集編集委員会）5号，2015.3.16，29—42頁
 - ・中嶋真弓「『活用力』を高める読解指導法—古典学習を中心に—」『第7回全国小学校国語研究所研究発表会全国研究協力委員の実践研究』（全国小学校国語研究所）7号，2015.10.31，13—16頁
- 〈学会発表〉
- ・中嶋真弓「明治10年代発行教科書に見られる古典教材の一考察」筑波大学日本語日本文学会第38回大会，筑波大学，2015.10.3

華井裕隆（社会科教育学）

〈編著書〉

- ・井田仁康・伊藤純郎・唐木清志・栗原久・國原幸一郎・國分麻里・須賀忠芳『中等社会科 中等社会科21世紀型の授業実践 世紀型の授業実践 世紀型の授業実践—中学校・高等学校の授業改善への提言—』2015年，学事出版，206ページのうち124—132ページ（9ページ分）を執筆
- ・大友秀明，桐谷正信ら『協働によるシティズンシップ教育の実践』2016年発行予定，東信堂，約200ページのうち約25ページを執筆
- ・早稲田大学マニフェスト研究所選挙調査部会編『生徒の政治参加意識を高める学校模擬投票マニュアル』208ページのうち約5ページを執筆

〈学会発表〉

- ・華井裕隆「政治的リテラシーとは何か—政治的教養と公民的資質—」日本社会科教育学会，宮城教育大学，2015年11月8日

花園隼人（数学教育学）

〈学会発表〉

- ・花園隼人「幾何学モデルを利用した分数関数導入の実践と考察」日本数学教育学会，北海道札幌南高等学校，2015年8月7日。
- ・花園隼人「高等学校数学科における審美的な行為を促す教材の開発に関する一考察：楕円の定義の選択に焦点を当てて」日本教材学会，東京学芸大学，2015年10月10日。

日高淳（教育方法学）

〈論文〉

- ・「キャリア形成欲求と理容美容専門学校の学びが初期キャリアの展望に与える影響—組織変更意思と仕事変更意思の違いに注目して—」（原著），『キャリア教育研究』（日本キャリア教育学会），第33巻第2号，2015年3月，55—66頁。
- ・「理容美容専門学校卒業生の初期キャリア—A 理容美容専門学校卒業後の1年目の追跡調査報告から—」（資料），『キャリアデザイン研究』（日本キャリアデザイン学会），Vol. 11，2015年9月，127—134頁。

〈学会発表〉

- ・“Providing career education for over 12 years through cooperation between local technical colleges and senior high schools” International Association for Educational and Vocational Guidance (IAEVG)

平林真伊 (数学教育学)

〈論文〉

- ・平林真伊「数学的モデル化における児童による問題場面の解釈に関する調査研究：比例関係の成り立たない問題場면을例として」『科学教育研究』（日本科学教育学会）第39巻第2号，195-206.
- ・平林真伊「数学的モデル化における児童による問題場面の解釈の促進：混み具合の問題に関するインタビュー調査を通して」『日本数学教育学会誌 数学教育学論究 臨時増刊』（日本数学教育学会）第97巻，169-176.

〈学会発表〉

- ・Mai Hirabayashi「Pupils' interpretations of a problem situation: The case of population density」EARCOME 7, フィリピン・セブ島，2015年5月13日.
- ・平林真伊「数学的モデル化における児童による解の解釈に関する一考察：あまりのあるわり算の問題に焦点をあてて」日本教材学会第27回研究発表大会，東京学芸大学，2015年10月11日.

福田成穂 (理科教育学)

〈学会発表〉

- ・福田成穂，大高泉「理科教育における NOSI の内容に関する研究」，「日本理科教育学会」，京都教育大学，2015年8月2日.

宮本直樹 (理科教育学)

〈論文〉

- ・宮本直樹「イギリス中等前期科学教科書におけるデータ解釈—Key Stage 3 Science Spectrum 7~9に注目して—」，『教材学研究』（日本教材学会），第26巻，2015年3月，139-146頁.
- ・宮本直樹「小・中学校理科におけるデータ解釈能力を育成するための指導法—サイエンスプロセス・スキルに注目して—」，『科学教育研究』（日本科学教育学会），第39巻，第2号，2015年6月，176-185頁.
- ・宮本直樹「米国中等前期科学教科書におけるデータ解釈の記述の特徴」，『科学教育研究』（日本科学教育学会），第39巻，第3号，2015年9月，294-306頁.

〈学会発表〉

- ・宮本直樹，「小学校理科教科書地学分野におけるデータ解釈指導法の特質」，日本理科教育学会九州支部大会，沖縄県市町村自治会館，2015年5月23日.
- ・宮本直樹，「科学的探究におけるデータ解釈能力育成に関する基礎的研究—仮説設定後の『結果の予想』に注目して—」，日本理科教育学会第65回全国大会，京都教育大，2015年8月2日.

村井大介 (社会科教育学)

〈編著書〉

- ・村井大介「高等学校「倫理」における問答法を实践する授業—「幸福」と「正義」について対話する—」井田仁康・伊藤純郎・唐木清志・國原幸一朗・栗原久・國分麻里・須賀忠芳編『中等社会科21世紀型の授業実践—中学校・高等学校の授業改善への提言』2015年3月，学事出版，pp. 178-187.

〈論文〉

- ・村井大介「教科としての「正しさ」は如何に形成されるか—高等学校社会科分化に関する言説の分析を通して—」『筑波教育学研究』（筑波大学教育学会）第13号，2015年3月，pp. 59-77.
- ・村井大介「社会科教師のキャリア形成と社会科教育の再生産—二種類の物語の視点から—」『中等社会科教育研究』（中等社会科教育学会）第33号，2015年3月，pp. 15-20.
- ・村井大介「教師のライフストーリーは次代に何をもたらすか—地理歴史科・公民科教師の調査を通して—」『民主主義教育21』（全国民主主義教育研究会）vol. 9，2015年5月，pp. 187-194.
- ・村井大介「教員養成におけるライフストーリーの応用可能性—社会科教師を志望する学生の教科観と教師観の形成—」『日本教師教育学会年報』（日本教師教育学会）第24号，2015年9月，pp. 154-164.

〈総説・科研報告書等〉

- ・村井大介「ミシェル・フーコー『わたしは花火師です』を読む」『都倫研紀要』（東京都高等学校公民科「倫理」「現代社会」研究会・研究協議会報告）第53集，2015年3月，pp. 18-42.
- ・村井大介「身近な地域の学習において地域住民の語りを持つ可能性—児童・生徒と地域住民が捉えた音威子府村の課題と希望に関する社会学的考察—」『地域と教育—北海道音威子府村—』第14号（筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科学校教育学専攻社会科教育学分野）2015年8月，pp. 32-59.

〈学会発表〉

- ・村井大介「教師のライフストーリー研究から希望を構築する—地理歴史科・公民科教師の調査を通して—」筑波大学教育学会，筑波大学，2015年3月7日.
- ・村井大介「公民科教師のライフストーリーにおける教科観の変容過程—勤務校に応じた教師のゲートキーピングに着目して—」日本カリキュラム学会，昭和女子大学，2015年7月5日.
- ・村井大介「『現代社会』の成立と展開—教師の視点から科目の成立を捉える—」全国社会科教育学会，広島大学，2015年10月10日.
- ・村井大介「社会科教師研究における社会学・希望学の応用可能性」日本社会科教育学会，宮城教育大学，2015年11月7日.

〈その他 受賞など〉

- ・「日本社会科教育学会賞（論文部門）」，日本社会科教育学会，2015年11月7日（受賞論文：「ライフストーリーの中で教師は授業を如何に語るか—教師の授業観からみた社会科教育研究の課題—」『社会科教育研究』第121号）.

村松遼太（道徳教育学）

〈論文〉

- ・村松遼太「マークシートを取り入れた出席カードと採点支援システムの開発：出欠確認とフィードバックの効率化のために」『筑波大学教育学研究』（筑波大学教育学会）13号，2015年3月7日，79-93頁.
- ・村松遼太「『わたしたちの道徳』における情報モラルに関する教材の課題：内容項目との関連性の分析を通して」『教材学研究』（日本教材学会）26号，2015年3月31日，191-200頁.
- ・村松遼太「グローバル社会における『寛容』の特質と課題：『関心』概念を手がかりとして」『道徳教育研究』（筑波大学道徳教育研究会）16号，2015年3月31日，49-69頁.

〈総説・科研報告書等〉

- ・村松遼太「小中一貫校」『月刊教員養成セミナー2015年6月号』（時事通信出版局）2015年4月22

- 日, 112頁, 60-61頁.
- ・村松遼太「情報モラル教育」『月刊教員養成セミナー2015年7月号』(時事通信出版局) 2015年5月22日, 112頁, 54-55頁.
 - ・村松遼太「キャリア教育」『月刊教員養成セミナー2015年7月号』(時事通信出版局) 2015年5月22日, 112頁, 56-57頁.
 - ・大西圭介, 田邊良祐, 牧瀬翔麻, 松原悠, 村松遼太(分担執筆)「必出教育データ×7」『月刊教員養成セミナー2015年7月号』(時事通信出版局) 2015年5月22日, 112頁, 74-80頁.
 - ・村松遼太「進路指導」『月刊教員養成セミナー2015年9月号』(時事通信出版局) 2015年7月22日, 144頁, 78-79頁.
 - ・村松遼太「教科書と副教材」『月刊教員養成セミナー2015年10月号』(時事通信出版局) 2015年8月22日, 144頁, 70-71頁.
 - ・大西圭介, 村松遼太「学校の施設・設備」『月刊教員養成セミナー2015年11月号』(時事通信出版局) 2015年9月19日, 144頁, 60-70頁.
 - ・村松遼太「平成20・21年版(現行)学習指導要領」『月刊教員養成セミナー2015年12月号』(時事通信出版局) 2015年10月22日, 144頁, 66-67頁.
 - ・村松遼太「道徳教育」『月刊教員養成セミナー2015年12月号』(時事通信出版局) 2015年10月22日, 144頁, 70-71頁.

〈学会発表〉

- ・村松遼太「『読み物資料』を用いた情報モラル教育の提案:『ブラッドレーの請求書』の検討を通して」日本教材学会, 東京学芸大学, 2015年10月10日.
- ・村松遼太「戦後教育におけるデューイ『経験』理解についての一考察:『間接経験』概念への言及に注目して」関東教育学会, 青山学院大学, 2015年11月8日.

山崎 美穂(数学教育学)

〈論文〉

- ・「文化的視座による数学的価値を捉える枠組みの開発」『筑波大学教育学系論集』(筑波大学人間系教育学域) 第40巻第1号, 2015年10月, pp. 29-38.
- ・「数学教育における価値を捉える視点とその理論的背景」『数学教育学論究(臨時増刊)』(日本数学教育学会) 第97巻, 2015年11月, pp. 201-208.

呂 光暁(学校教育学専攻)

〈論文〉

- ・呂 光暁「児童の素朴理論を生かした小学校社会科経済学習」『社会科教育研究』(日本社会科教育学会) 第124号, 2015年3月, 14-26頁.

〈総説・科研報告書等〉

- ・呂 光暁「音威子府村の学校教育における観光の取り扱い方」, 井田仁康, 「社会科教育学特講」調査報告, 『地域と教育』第14号, 筑波大学博士課程人間総合科学研究科学校教育学専攻, 2015年8月, 111頁, 60-79頁.

〈学会発表〉

- ・呂 光暁「小学校経済教育における方法論の考察」, 全国社会科教育学会, 広島大学, 2015年10月10日.

〈その他〉

- ・ 経済教育学会奨励賞，経済教育学会，2015年9月26日，受賞論文：「経済的な見方や考え方と日常経験の関係性に関する研究 —小学校児童を対象に—」（『経済教育』第33号）

《ヒューマン・ケア科学専攻共生教育学分野》

江角周子（共生教育学）

〈論文〉

- ・ 江角周子「友だちとの関わり方から見る現代高校生のコミュニティへの意識」『高校生のコミュニティとの関わり合いに関する調査 —2013-14年調査報告—』（筑波大学共生教育社会学研究室），2015年2月，92-107.
- ・ 江角周子・庄司一子「中学生における聴くことの意味の検討」『筑波大学発達臨床心理学研究』第26巻，2015年3月，27-37.

〈学会発表〉

- ・ 渡辺弥生・庄司一子・岩立京子・扇原貴志・藤野沙織・江角周子・新井雅「生涯発達を通じた予防教育—幼児期（幼児教育）から青年期（高等教育）まで—」日本発達心理学会「第26回大会」，東京大学，2015年3月22日.

※Shuko Esumi, Ichiko Shoji 「The effects of peer support training in junior high school students — Focusing on listening —」The 14th European Congress of Psychology, Bicocca University: Italy, July. 9, 2015.

- ・ 江角周子・庄司一子「中学校における予防教育実践を通じた生徒の変化—仲間間のサポートに着目して—」日本学校心理学会第17回大会，大阪教育大学，2015年7月18日.
- ・ 江角周子・庄司一子「中学生における相談相手の数・種類の違いに関する検討—学校への適応感，自己肯定感，仲間からのサポートに着目して—」日本教育心理学会第56回総会，朱鷺メッセ，2015年8月27日.
- ・ 庄司一子・崔玉芬・新井雅・山田有芸・江角周子「『大切な物』と他者とのつながり—関連要因の検討を通して—」日本教育心理学会第56回総会，朱鷺メッセ，2015年8月28日.

坂口真康（共生教育学）

〈論文〉

- ・ 「高校生における外国や外国人に関する意識の考察—ナショナルな枠組みの柔軟性に焦点をあてて—」，岡本智周・坂口真康編，『高校生のコミュニティとの関わり合いに関する調査—2013-14年調査報告—』，筑波大学共生教育社会学研究室，2015年2月，pp. 127-138.
- ・ 「南アフリカ共和国における「共生」のための教育に関する—考察—西ケープ州の高等学校を舞台とした認識のせめぎ合いに着目して—」，『比較教育学研究』（日本比較教育学会），Vol. 50，東信堂，2015年2月，pp. 89-111.

桜井淳平（共生教育学／教育社会学）

〈論文〉

- ・ 桜井淳平「〈日本的〉な文化事象と高校生—コミュニティとポップカルチャー・メディアとの関連を中心に—」，岡本智周・坂口真康編『高校生のコミュニティとの関わり合いに関する調査—2013-14年調査報告—』筑波大学共生教育社会学研究室，2015年2月，pp. 151-170
- ・ 桜井淳平「新聞投書欄にみる『いじめ』の〈語り方〉の通時的变化」『教育学系論集』筑波大学人

間系教育学域, Vol. 40, No. 1, 2015年9月, pp.1-14

〈総説・科研報告書等〉

- ・桜井淳平「研究事業委員会からの報告：研究テーマ『いじめ言説の通時的変化に関する研究—防止対策の方向性と子ども観の変化に着目して—』『子ども社会研究』日本子ども社会学会, No. 21, 2015年6月, pp.245-247

〈学会発表〉

- ・桜井淳平「2010-2014年間の『世代間経済格差』認識の変化—『高齢者のほうが恵まれている』という認識の広がりには焦点を当てて—」, 関東社会学会第63回大会, 千葉大学, 2015年6月
- ・桜井淳平「『子どもの犯罪被害防止』推進のプロモーターとしての『専門家』—〈学校安全〉に多様な主体を動員する語りの特性—」, 日本子ども社会学会第22回大会, 愛知教育大学, 2015年6月
- ・桜井淳平「不審者侵入事件を契機とする〈学校安全〉主題化のポリテクス—『開かれた学校』をめぐる言説との関係を中心として—」, 日本教育社会学会第67回大会, 駒澤大学, 2015年9月

〈その他 受賞など〉

- ・日本子ども社会学会2015年度研究奨励賞：「『子どもの犯罪被害』に関する報道言説の通時的変化—〈被害防止対策〉拡大の源を探る—」『子ども社会研究』No. 20, pp.31-45

田中真秀（共生教育学）

〈論文〉

- ・広田照幸, 末富芳, 筒井美紀, 田中真秀, 香川七海「1980年第日本教職員組合の400日抗争における路線対立軸の整理（その2）」『研究紀要』第89号, (日本大学文理学部人文科学研究所), 2015年。
- ・広田照幸, 末富芳, 筒井美紀, 田中真秀, 香川七海「1980年第日本教職員組合の400日抗争における路線対立軸の整理（その3）」『研究紀要』第90号, (日本大学文理学部人文科学研究所), 2015年。

〈学会発表〉

- ・末富芳, 大野裕己, 本多正人, 田中真秀, 他3名「効果的な学校運営のための学校財務に実証的研究（2）—国内外の自治体・政府による学校支援体制を中心に—」日本教育経営学会大会第55回大会, 東京大学, 2015年6月
- ・大野裕己, 安藤福光, 田中真秀「Trends and Problems on the Education Programs for Future School Leaders of Japanese Universities」第10回東アジア教員養成国際シンポジウム, 名古屋国司祭センター, 2015年10月30日

王 巖崧（共生教育学）

〈総説・科研報告書等〉

- ・王 巖崧 (2015). 平成26年度フレックススクール荃崎高校におけるスクールカウンセリング実践報告 庄司一子・江角周子 (編集) 平成26年度筑波大学革新的な教育プロジェクト支援によるキャンパス エイド活動報告, 筑波大学教育臨床学研究室, 2015年3月, 68-69.

〈学会発表〉

- ・王 巖崧・庄司一子 (2015). 「登校回避感情を抱く中学生の登校規定要因の検討 —中国公立中学校を対象として—」日本学校心理学会第17回大会, 大阪教育大学, 2015年7月19日.
- ・王 巖崧・庄司一子 (2015). 「中学生の登校回避感情に関する検討 —中国公立中学校を対象として—」日本教育心理学会第57回大会, 朱鷺メッセ (新潟コンベンションセンター), 2015年8月28日.